（廿九日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

痔の最高内服薬　ダイサン錠
鼻のクスリ　チクノール錠
平町五丁目角　山野邊薬局

好間十好會

（俳句其ノ四）

題「合歡」五句

崖崩れ仰ぐ狹道や合歡の花　臥峯
堰あふる水音ばかり合歡の花　同
寄れす蝉はたと止みけり合歡の花　同
戻る魚籠に生もつ魚や合歡の花　同
合歡咲くや蕊の輪となる子供たち　同
草束にねむの花さし戻りけり　桂花
野良人のくはい煙管や合歡の花　同
棧橋や見下す谷にねむの花　同
合歡の花取りたる籠の茄子の艶　同
合歡の花咲きにし木陰小鳥鳴く　秀
崖崩れ合歡咲く中に小道哉　同
朝靄の晴れし小丘やねむの花　同
合歡の花窓より見ゆる湯浴かな　同
合歡の花瀧の飛沫に濡れ居たり　同
合歡咲く[illegible]たる鸚哥追ひ廻す　青柳子
合歡咲くや流れに添ふてお洗濯　同
立ち並ぶ墓石暮るゝや合歡の花　同
美くしさ合歡の花より落つ毛虫　同
十九夜堂と地藏堂有り合歡の花　同
枯殘る只一枝やねむの花　石菖
馬牢の寂然として合歡の花　同
合觀の花に暫く氣なく釣り居たり　同
ねむの花喰ひ盡したりつなぎ馬　同
探し得ぬ蝮となりぬ合觀の花　同

或る炭山の麓の人々（五）

（此の一篇を北海の友に送る）

福田將夫

殘つたものは篝火を焚いて暖く床に就く計劃を始めた。生木が交つてゐるとみへてけたゝましく撥ける音が谷中響く。そして又ひつそりとなる。邦男が町へ行くので僕も勸められて約束したが、時間になつたから出かける。此手紙は懷へ入れて行つて町で僕が出すことにする。

阿面に熊笹を敷いて、その上へ七島笠を乘せて夜具と名の附かぬ程の物が敷かれてある。これが天幕の内の僕の寢床なんだ。今夜は早くから寢床へ潜り込んで考へてみた。何一つ僕等の考へでは纏まるものもなく結局成るやうにしか成らぬといふことに決着した。羽蟻が澤山天幕の内に這入つて來て仕方がないから、一燃けたランプを頭の上へ持つて來たがそれでも五月蠅い。外は風があるのか蝦夷松や白樺の林が少し鳴つてゐる。

僕も二三年は炭層調査人々を陽の光の下で働けるが、何日かは眞暗な炭坑へ這入らなければならぬやうになる。尤も炭坑へ這入る日が來年くるのかも知れないが、僕はその時は何日でも會社を去る積りだ。土木科を出た僕を探鑛などを附屬の人間とごつちやにして使つたり、坑夫の世話、をさせて、その間が學んだまた專門の學科の上を少しも思つて呉れない、こんな會社には永く務りさうもない。敢く修めた學科にのみ執着する譯にはないが二十二といふ若い盛りを貴い日を世間と離れて殊更に荒んだ生活をすると言ふことは、金を幾程貰へたからと言つても決して有難い事ではない。仕事も僕には過激だ。僕だつて平地にゐし他の人間のする仕事位は行るに差支のない人間だと思ふ。

「貴君も仕事がつらいでせうが、まア、一生懸命に行つてみて下さい」

坂野さんが酒の町へ僕を連れて來た三日目にかう言つた。僕は「宜し、僕も男だ二十五になるまで僕の仕事に目鼻の附くやうな働きをして故郷の奴等を驚かしてやる」と思つてみた事もあつたが、家を出る時でさへ何んの豫定もなく光明も認めずに、只愛に缺けた家庭の冷たさが厭で飛び出した位な僕のやうな人間には出來やう筈がない。

僕の輕卒が更に愛の不足寂しさを想はせる生活に墮してしまつた。坑夫の馬鹿話的になつて許りもゐられまい。今日はそれを[illegible]つて終日氣が焚々して天幕の中に坐つてゐることも出來ぬ位だつた。

暇さへあれば二里半の山坂を下つて町まで來て、酒を飲んでは標緻の良いのである柔婉なのでも婀娜なところのあるのでもなく、女だと言ふ名だけの生き者を相手に、揶揄つたり獅嚙付いたりする坑夫や事務所の奴に愛想を盡かしたことが度々あつた。

汗を流して働く、疲れた体と金が殘る。これだけより他に何んにも坑夫等にはない。山の中に坑の暗闇に荒んだ生活をしてゐるだけで決して人間は生きて行かれるものぢやない。自分の眞姿を見詰めた時に、人間が笑へる[illegible]者ぢやないと言ふことは坑夫等にも解る。斯う言ふことが解れば解る程寂しい暗いその想から逃れやうと藻搔くことになる。酒を飲む度重なつて酒を飲む爲に働くやうになる。飲んで憂愁から離れると赤裸々な人間の醜さで本能的に女を求むることに快樂を見附け出して生きるやうになる。

鳥羽玉の暗は、唯想ひ狂ひと僕を包んでゐる。坑夫等の「その日その日の風次第」と唄つて暮らしてゐられるのが羨ましい。然しやはり僕には出來さうもない。

仕事に差支へさへしなければ町へ夜出ても互に知らぬ顔をしてゐる程、天幕内は勝手になつてしまつた。邦夫は殆んど一晩おきに町へ行く。飲んで何に彼も忘れやうと僕も從ひて出るやうになつてから十日程になつてしまつた。町は飲んで騒げる家は「磯馴れ」だけなので山の坑夫や町の事務所の奴など廊下でぱつたり合つたりする。初めは妙に顔をみられるのが厭だつたが今では平氣になつた。部屋が別れてゐるので少しは我慢が出來るためでもあらう。

明日の吉凶

舊暦八月十七日　新暦九月三十日

▲一白　妄擧を戒め努力を惜まざれば大吉と成る▲二黑　何事にも手堅く一歩一歩と進むが安全の日▲三碧　投機心を起さず空想にふけらず常業大切の日▲四綠　依賴心を去り己が力を以てあせらず進むに吉▲五黄　無理の競爭は失敗を招く基自重漸進すべし▲六白　表に現れざる苦勞の潜む日神佛詣でが吉▲七赤　一波去れば一浪又追ひ來るあせるは破れの基▲八白　目上と隔意を生じ易き日兎角平和が勝なり▲九紫　目上の引立しあり朋輩の助けもある幸運日

講談

幕末秘帖 狂怒亂心

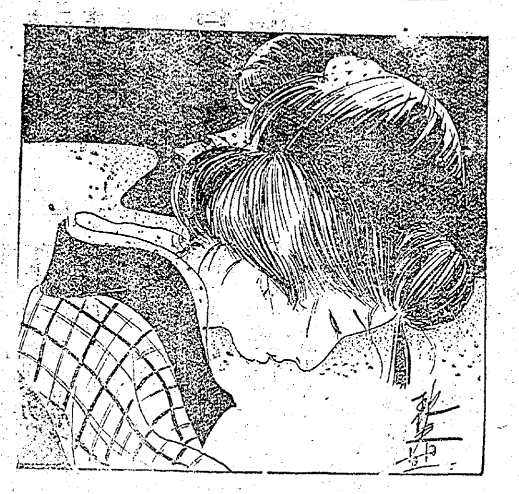
(54)

渡邊默禪作
宮野歌春畫

「困つたなア」と音は腕叉して

「何、察しない譯では無ね、察してゐるよ、十分に察してはゐるんだが死んだもなくクヨ〳〵したところで仕方が無ねやな。梅の野郎さへ居て呉れりやア俺アこんな事は言はねえ言はなくとも濟むのだ、なア、金が出來なくたつて返せなくたつて糞を喰へッ、篦棒めねて濟むけれども、死なれて見れば其の元氣も無ね、元氣がなければ張合もなし張合が拔けたとなると好い智ゑも出ねえ、滅多に人に下げたことの無え此の頭だが義理てえ怖い物にかゝつちやアいやでも下げない譯にはいかねえのだ、だから背に腹は替へられねえと思つて、こんなにお前に賴むのに、きゝわけては呉れずた虎の婆さんからは火のついた樣にあたられるし、俺アど、ど、どうして可いかさつぱり解らねえ」

とせつなさうに顔をしかめてぶる〳〵と瘧の戰慄を手足に見せてゐる、お君は得絶わずに其場に泣きくづれた



「可いや」と音は舌打して「いやなものを無理に頼みは爲ねえ、寧そのこと斷わつちまはう」と強い語氣「是から虎の所へ行つて娘は不承知だから勝手にしなど、ピッタリはねつけて遣らう、そして先方に爲てえことを爲して見よう、なアに多寡が御奉行所へ願つて身代限にするだけのこつた、眞逆此の音五郎の素首まで持つて行きやアしめねまアそうなると世間の外聞人の笑はれ物近所の衆にも合せる顔が無えから此の家を疊んで夜逃をやらかすと爲るかな、イヤ待てよ、御屋敷の方は御役御取揚になるから逃げたところで食ひ樣が無え、食はれねゑくいなら手取早く死んだ方がいゝ、死ぬとするさ首くゝりも氣が利かす、土左衞門も厭やだ、む、好いことがある、梅の野郎が新徴組で殺されたから其の仇討だと云つて屋敷へ暴れ込んで、浪人衆に殺される、こいつア思ひ附だ、むゝそうしよ〳〵オイ、お君、俺ア是から梅の仇討に出掛けて行くからお前は跡に殘つて乞食でも何んでもして、勝手に活きてゐな、可しい」癡だといふ風にかんでゐた煙管の雁首がひしあるばかりやけにハイフキを叩きつけて、ふいと立揚つた。

「あれ、爺さん!」

古疊の上へ肱を落して、まへかけを顔にさめ〳〵と啜り泣いてゐたお君は慌てゝその裾に取縋つた

「何だ?」つゝけんどんな聲

「ちよつと待つてくださいそ、そ、夫程までに困るのなら、と、爺さん」としやくり上げて

「わ、私、どうでもなるわ」と投出したやうに言ふ

「えッ、それぢやアノ俺の賴を肯いて」と急にニコ〳〵

「藤屋の息子ン許へ……むそして呉れるのか、イヤ有難え〳〵」と座り直して片手で拜んだ

「ハイ、行きます、參ります」と決然言つて

「そうしなければ、爺さんの命が亡くなるといふのにわ、我儘を言つてゐられる場合でないから、わ、私か、覺悟を極めました、死んだ梅さんに濟まないけれど、親の命には換へられません、爺さん、どうぞ短氣な行爲は止してくださいな」

と潤む眼をまたゝかせる

好機再び來らず!!
今直ぐ御需めあれ!!!
好評復た好評!! い組三百本　ろ組三百本既に賣れ切れ殘るは　は組三百本のみ
幸運は果して誰れに
今直ぐ御需めあれ!!!

三百本一組景品ノ内容

壹等	十八金厚側西瑞製拾石入アンクル十形腕卷時計	三個
貳等	クローム側拾形西瑞製十石入アンクル腕時計	五個
參等	最新式置時計	拾五個
四等	舶來二ツ折レシース	三十五個
五等	弊店名入手拭	殘全部

本特賣抽籤ニハ全部空籤ナシ

特賣期間　自昭和三年九月一日　昭和三年拾月卅一日　滿二ケ月間
抽籤場所　公會堂
抽籤方法　在平新聞記者立會嚴正施行ス
抽籤發表　御即位式當日當籤者各位ニ通知ス
景品引換　抽籤發表一ヶ月以内トス

御大典記念景品附特賣
コサツク萬年筆記念名入
壹號　特價　金貳圓也
貳號　特價　金貳圓四十錢也
參號　特價　金貳圓八十錢也
其他各種
磐城平町
高倉天地堂

貸家
平家水道付
（家賃月十五圓）
通風採光良・理想的の住宅あり
△磐城訓盲院の隣
新川通り
御希望の方は平町かじ町
吉田屋呉服店
電話一二一番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフヱー幸樂
平町六丁目　電五三九番

婦人世界特選
◎舞姫模樣銘仙◎
新柄取揃
九月二十二日ヨリ陳列即賣
三井呉服店

外科新設
外科專門　部長　藤本順
診療開始
産婦人科　院長　木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

初秋の御用意品案内
合着シャツとして確かに皆樣より歡迎を受けるスムースシャツは肌觸り滑かで實用的であります
並　一圓五十錢
大　一圓八十錢
綿ネルと本ネルのワイシャツ
中折帽子　鳥打帽子
中山帽子　子供帽子
新柄種々陳列致しました
に
ツルヤ商店
電話百四十番

ホシ美白粉
ホシ美クリーム
ホシ美ローズ香水
星製藥株式會社
ホシ美粉白粉
ホシ美固練白粉
ホシ美煉白粉

商品化される米は
石城で廿五萬俵
之れが改善の急を說く
郡農會と穀檢所

石城郡に於ける平年作の産米は十六萬石に達し郡內生産者自身が消費される石高は五萬九千石で殘り十萬石（約二十五萬俵）は何れにしても商取引に依らねばならぬ由來石城郡に於て消費される一ヶ年間の消費高は二十六萬石の多きに達して居るから郡內生用高十六萬石を控除した殘りの十萬石は常に郡外から移入されて居るこの需給の關係から郡內生産米は殆ど縣外に移出されない從つて生産米の檢査は一般に行はれない爲め郡內農家の産米價格は何時も他郡に比し石當り二圓以上の安開きにあるこれが爲郡內農家に於ては毎年平均二十五萬圓以上の損失を見てゐる狀態のため平穀物檢査所並に石城郡農會では産米商取引改善施設は急遂行はねばならぬ農家の大問題の故に目下協議中であるが平穀物檢査所では改善施設並に縣外移出に關し近く郡內各町村有志と共に東京市場視察をなし今年度産米からこれが徹底的指導をなし大いに施設改善の實を擧げると

磐崎農會視察
四倉市場その他

磐崎村農會では目下の農閑時を利用し郡內各方部の農事視察を試みるべく計劃過般來奔走中であつたが同村內農事實行組合員篤農家約四十名の參加を見たので今廿八日午前八時から同村農會長酒井健吾氏が引卒郡農會の事務狀況、神谷分場、大浦農業倉庫四倉蔬市場の取引狀況四倉セメント會社其の他の視察を爲した

平署に檢擧された
軟派一味の不良
喧嘩を賣つて酒を飲む
花柳界の手餘者

平町字材木町女王醬油本舖雇人泉村大字瀧尻字中の坪生れ材上利三（假名二〇）仙臺市國分町生れ當時平町一丁目西洋洗濯屋雇人大沼勝治（二三）相馬郡大甕村生れ當時平町一丁目巴洋服店雇人花澤喜重（二三）平町字　丁目北川秀雄（三三）の四名は毎夜の如く新田町、南町、鎌田等の花街に出沒し通行人に喧嘩を吹きかけ酒代を稼ぐ外市內各所のカフエー等で無錢飲食を爲してゐた事、署に探知され昨廿八日夜南町附近を徘徊中平署刑事連の爲めに逮捕本署に引致の上で嚴重な說諭の上放還したが此奴等は今夏頃まで當地方を荒し廻つてゐた大崎一味の硬派不良團とは別動隊で幾分智的に活動する硬派不良の徒であるだけ平署でも此れ等の橫行には一方ならず手古摺つてゐたものである彼等の常套手段とする處は四人組の中一名か二名が通行人但し金のありそうな靑少年に何かの罰かけを見付けて喧嘩を始める其處に別の二名か三名が仲裁人と言ふ格で入り込み仲直りをさせて呑み倒すと言ふ古い型ではあるが從來の喧嘩即傷害の硬派と異つてゐるだけ取締に困難であると係官はこぼしてゐた

研究講座
松葉の滋養に就て
山崎喜正

私の痼疾たる喘息が遂に半癒し健康全く回復せしは偏へ松葉の療法によりたる爲めにして松葉は私に取りては可懸天與の靈藥であります、故に私に松葉に就て調べました事柄と自分の体驗とを廣く同患の人々に知らせ御奬めしたいと思ふのであります。

松葉に有含する成分中

一細胞間隙に滲透する殺菌力

一撥類產物を排泄、新陳代射作用を旺盛ならしむる力

一閉塞性有毒物たる尿酸鹽を溶解の又之を尿酸鹽たらしめざる內に排泄せしむる力

一ヴイタミンの力

一特二なる石灰性不純物溶解素を有し動脈內部に滯積せる石灰性不純物に溶解され總に血液は淨化されて新鮮なる血液となる靈妙不可思議なる力

其成分々析は大[illegible]液質と柔酸、鐵、マンガン、植物性纖維等

松葉の効能

道修女子藥學專門學校長和辻覺氏の發表

脚氣、結核、神經痛、リヨーマチ、中風、腦溢血血壓高過、動脈硬化症

村井弦齋先生は蛔虫や十二指腸虫の驅除豫防に体驗せる事を證明す

文學博士物集高見先生は自分は八十に垂んとして健康が保てたるに常に松葉を食ふて居る爲めで松葉は血壓を下げ動脈硬化を防ぎ便通をよくし胃腸病、喘息、痰、咳、淋病痔、心臟、肝臟、に卓効ありと云ふ

松葉療法

松葉を煎しては滋養成分が飛散する故液素を其儘抽出し夫れを用ゆる又靑葉を嚙んでその汁を飲む而して五日十日では駄目です長く飲む程效果があるのです初めに澁くてすく臭味が高く食し難きも段々馴れて來れは何ともなくなりますから辛抱して召上れ、不老長壽の靈法を申します

松葉は新しい程効能があります、松葉を探るのは朝早くか日暮後か兎に角太陽の光線のあたる時を避くる樣せねばなりません

坑口に待ち伏せて
怨みの一刀
晝寢を叱られた腹癒せに
入山の機械工が

湯本町字上町居住新潟縣岩船町生れ入山炭礦機械職工加藤金八（三九）は昨廿八日午後一時頃同炭礦第五坑に入坑作業中の同僚の眼を盗んで晝寢と酒落込んでゐたのを職工監督今野清三郎（三八）に發見叱られたのに憤慨し其の儘坑外に飛出し自宅から刃渡七寸餘の肉切庖丁を持出して第五坑出口に待ち伏せ折から坑內を出て來た清三郎の橫腹に物をも言はず突き差し瀕死の重傷を負はせて逃走せんとしたのを請願佐藤巡査に逮捕本署に引致の上殺人未遂として目下嚴重な取調を受けてゐるが被害者清三郎は直ちに同炭礦病院へ昇ぎ込み應急手當を加へてゐるが可成の重傷である

教員檢定試驗
十一月下旬發表

平第一小學校に於て去廿五日から今廿九日迄施行されてゐる本縣小學高正、尋正專準、各種專科教員檢定試驗は受驗百八十名で前回よりやゝ多く縣全體に於ても今回は千百八十名を算し前回に比し百五十名を增加してゐる由であるが成績發表は遲くも十一月下旬中に行はれると

片倉製糸から
訴訟を提起
利用組合相手

石城郡下における産業開發のガンといはれるまでになつた販賣利用組合と設立の中途にある片倉磐城製糸會社創立發起人との紛爭は逐日濃厚になり將に法曹界の問題として黒白を決せんとするまでに立至つた即ち發起人等は會社の募株開始當時から販賣利用組合に惡宣傳され然も數回にわたつて印刷物を配付されたことが募株の不成績を招いだ一大原因になつて居るといふ見地から利用組合を相手取つて損害賠償の告訴を提起せんと今日までに組合が配付した印刷物その他の材料をしきりに集めて居る

平年作確實
豫想を裏切り
郡南の稻作

收獲皆無とまで見られてゐた石城郡南地方上遠野、入遠野、田人等山部村落の米作は天候の恢復から漸次持直し二百十日前後の風雨被害も幸ひに例年稀な僅少であり昨今早生刈り取期に近付中生晩生種等も垂穗し却つて近年にない見事な實入を示してをり且他の町村共豪地河川沿岸地方問はず被害絕無といつた課子で輕く觀て平年作は充分の見込みが確實となつたので一般からすれば寧ろ一割位は增收を來すではないかと農家は喜色をたゝへてゐる

優良農具の
實演會
平町に開催

本縣主催第四回優良農具實演會は來る十一月二十四日から三日間平町石城郡農會事務所に於て御大典奉祝園藝品共進會と併せ開催することに決定した出品種類は

△第一類　耕種に關する農具

△第二類　收獲調製貯藏用農具

△第三類　副業用農具

△第四類　農用動力機

△第五類　動力用器具

等で約四百點に達する見込みである

宮家のお慶びを祝し
松ケ岡に奉祝會
式は高久氏の開辭に始まり
在平會津人會で

既報の會津人會は昨二十八日午後三時より松ケ岡第三公園の頂上に開會した、高久忠氏開會の辭を述べ、此度の御成婚は我が福島縣人の誇りであり、永く虐げられた會津人の上に春が廻り來た悅びを語つた後、古川四郎氏は勢津子姫の御誕生より今日迄の御閱歷御逸話等を述べ、小原喜八氏は祝電に對する松平家よりの返電其他の報告あり、來賓代表として伏見町長の熱誠をこめたる祝辭あり、次で伊藤氏の發唱にて萬歲を三唱して宴に移つた、中央には秩父宮、勢津子姫、松平總裁の御寫眞を奉置し、數名の紅裙連は酒間に侍し所謂た國風の芋煮會の形式で故郷を偲び歡談數刻會員の散會を見たのは薄暮六時すぎであつて頗る盛會を極めた

內郷の鐵骨櫓
內郷

村消防組では同村大字御厩地內に鐵骨の一大火の見櫓を建設すべく奔走工事を急いでゐたが此の程愈々落成したので明三十日午後一時から盛大な火の見櫓竣工式を擧行する事となつた

仙臺高工と
磐中の野球
けふの試合

仙臺高等工業學校野球部選手は今廿九日平町に遠征し來たり午後二時から磐中野球部と磐中グランドに開戰したが審判は石坂君、本稿締切りまでは勝敗不明であつた

產業組合の
宣傳映畫
左記の日割で

本縣產業組合支會では縣下各產業組合の發展を計るため來月左記日割により各地に產業組合宣傳活動寫眞及映畫講演會を開催するが縣からは橋本兩主事派遣される

▲九日石城郡小名濱町小名濱信用組合▲十日同郡好間村好間村信購組合▲十一日草野村無限責任草野信購組合

漁港修築に
町民大會
江名で猛運動

石城郡各漁場改修については一般漁業關係者は非常に熱心な實現運動をなしつゝあるが最近縣の態度が餘りに冷淡であるといふので關係者間で色々對策を講じてゐたが縣を動かすには一般漁民の熱烈な運動に俟つより外に良策がないといふに一致し江名町中の作では專間漁港の改修促進のため二十九日午前十時から同町藤田分工場に於て區民大會を開き同大會の決議を以て更に縣當局に猛運動を起すことゝなつた

愈々實施を前に
陪審法の講演
平檢事局武田檢事が
けふ平署樓上で

我國司法制度の一大變革である陪審制度も愈々來る十月一日から實施される事になつたので平署全署員及四倉、植田兩署員を平署樓上に召集し平檢事局主席武田檢事は今廿九日午後一時半から陪審制度の講演をなした

二階を飛んで
籠の鳥逃ぐ
小名濱の酌婦

小名濱町料理店大峯ハル方抱酌婦栃木縣鹽谷郡生れ小森タツ（二五）は去る廿七日午前一時頃家人の隙を覘ひ二階の手摺から飛降り逃走行方を晦ましたので女將ハルからタツの取押へかたを平署に願出たがタツの逃走原因は不明であるが前記ハル方に住み込む以前からの情夫があつたらしく或は其兩人手を取り合つて高飛をしたものではないかと見られてゐる

現金千餘圓を携へ
家出した十七娘
吳服屋の番頭風の男と
平署へ搜査願ひ

栃木縣足利郡三重村岡田粂次郎二女スガ（一七）は實父粂次郎と共に姉の嫁いでゐる東京府下南豐多摩郡岡田千代方に滯在中去る廿五日午前九時頃活動を見て來ると稱して出たまゝ何處ともなく行方を晦ましたので家人は大いに驚き八方搜査を續けてゐるがスガの家出は計劃的のものであるらしく實父の金約千餘圓を持出してゐる尚スガが家出の二、三日前から平町吳服店員と稱する一見廿四五歲商人風の男が繁々スガを尋ねて來てゐたから或は當地方に潜伏してゐるのではないかと今廿九日實父粂次郎から平署に娘の行方搜査方を願出た

上竹氏來平
平陽校で講話會

平町揺槌小路酒井キウ氏外有志連は今回神經痛リウマチスの難病に悩む多くの人々を治療全治せしめた宇都宮市濟生病院長上竹善三氏（現市會議員）の來平を機として十月一日午後二時より平陽女學校內に該病に關する講話をなし二日より五日まで同校內に於て治療を乞ふことゝなつたが神經痛系統の病者に一大福音であろうと

平商業校の
昇格運動
教育會で協議

石城郡地方には中等程度の教育機關が遲れ縣立中學校あるのみなので數年來平商業學校の昇格が叫ばれてゐたが時期尚早の故を以つて問題にならずにゐたゝめ入學難の今日平町役場の無能さへ叫ばれ識者間の問題となつて來たがいよいよこれが實現をはかるため二十六日午後七時から平銀行樓上に平町教育委員會を開會して御大典記念事業の一にと同校昇格實現の協議をなした

異存は之無く候
平職業紹介所が調べた
就業兒童の模樣

平町職業紹介所では大正十五年以降小學校卒業兒童の職業紹介をなし、昭和一年度までに六十一名、本年度に入つてから三十一名、合計九十二名の兒童に對し職業の紹介をなしたが同所では此の紹介した兒童に對し本年八月下旬紹介されて目下從事してゐる職業に對して何んな考察をしてゐるか、そしてどんな感想を持つてゐるかまた收入金をどんな方法で處分するか、外三三件ゝ印刷物にして質問書を發した處此程全部の解答が纏まつて來たが、その解答に依ると何れも申合せたやうに現在從事中の仕事に滿足してゐるとの事で紹介所でも非常に喜んでゐるが少年職業紹介と云ふことは非常に面倒で一歩道を踏迷へば其少年の將來に暗い影を負はせることにもなり、紹介所としては毎年二回位づゝ斯うした質問をなし、若し不平がある場合には相當善後策を講ずる由である

手付金騙取
賣炭商訴へらる

赤井村大字不動堂賣炭商高田忠助（五九）は去る八月十二日千葉市元町三丁目犬飼睦朗に對し木炭三車を送る契約の下に手付金として一車に就き五十圓計百五十圓を受取つた儘今日に至るまで再三の督促にも更らに荷送りする樣子がないので睦郞は忠助を相手取り手付金橫領の告訴を平署に提起したので目下平署では忠助を召喚嚴重取調中である

展覽會準備成る
御大典記念事業

石城郡町村支會では來る十一月行はせらるゝ御大典に最も意義ある記念事業として自治資料展覽會を開催すべく準備中であつたことは既報の如くであるがいよいよ準備も整ひ經費支出方法等も決定したので二十六日出品要項を印刷して郡內各町村並に郡內各種團體に配布て資料蒐集に着手したが出品項目は町村誌、町村圖町村見、案內記、町村治績類、各種統計圖表又は一覽表、自治制發布前の自治的資料町村役場事務室の配置圖自治振興に關する計畫又は意見その他條例規程產業團體の治績等數十種に及んで居る開催期日は農事試驗場石城分場五週年記念園品共進會と同じく十一月二十三日より二十六日まで四日間石城郡元郡衙議事堂に於て開催さることに決定したが石城分場の共進會と同時日なので豫想外の殷賑を呈するものと見られてゐる

□末女さんへ　御家庭の情お察しいたします、父が死亡すれば當然長兄が戶主となりますが戶主だからとて現在の財產を必ずし全部自由に出來ると云ふことに決まつてはゐません若し長兄の自由にする事によつて一家が亡廢してしまふと云ふ惧れがあるならば合法的に之れを防ぐことも出來ます、信用の出來る有力な辯護士に御相談なさい。（係り）

磐新塔

石城郡植田町菊多座にて去る二十六日夜開演中の小松座一行歌舞伎に見とれて居たあどけない姿乙女が植田署員に引立てられ芝居にうつゝとしてゐた歡樂の夢が破られてしまつた此少女は同郡川部村小川の某料亭女中江東トミ（假名）といふ未だ十五歲の小娘ではあるが紅燈綠酒浮れ男に仕へする料亭に働く身とて性の目醒はいち早く數日前から小島一座が同地で開演中女形役者の茶に魅せられ戀の狂言はお手のものゝその役者にたぶらかされ始めて知る戀の甘さにひかされて、そつと家を拔け出で後にひかけて來たのであつたが家人に追つかれ途にこわいおぢさんのご厄介になつて家に引取られはかなき戀を破られたのである

小倉通學服
中學生
小學生
制服
種々取揃へました、大勉强致します、是非御出下さい。
平町停車場通り
正札堂

醫院開始
◆內臟外科
◆外科一般
◆花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番